

[05]韓国研究センター年報

<https://hdl.handle.net/2324/2198470>

出版情報：韓国研究センター年報. 5, 2005-03-15. Research Center for Korean Studies, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

センター彙報

1) 2004年度活動報告

2004年4月～2005年3月

年	月	日	曜	視察、会議、催し等
2004	4	7	水	ソウル大学校 総長ほか5名来館
		16	金	韓国研究センター「Welcome Party」開催
	5	26	水	国史編纂委員会 具仙姫氏、韓巨熙氏来館 高麗大学校亜細亜問題研究所 9名来館
		1	火	麗水大学校学生一団見学
	6	4	金	安東大学校行政経営大学院 教授・学生一行見学
		7	月	韓国研究センター 第1回定例研究会
		8	火	九州国立博物館交流班主任主事 元永行英氏来館
		9	水	日韓文化交流基金 堀 泰三氏来館
		16	水	外務省 井関至康氏来館
		21	月	韓国研究センター 第2回定例研究会
		22	火	麗水大学校 学生一団見学(～計5回来館)
		25	金	崔徳寿(高麗大学校)教授、韓国研究センター客員教授着任
	7	1	木	釜山大学校歯科大学 教授・学生一行見学
		29	木	全南大学校 姜貞塚次期総長ほか8名来館・視察
	8	3	火	唐津東高校 学生一行見学
		6	金	韓国国際交流財団 2名来館
		21	土	韓国研究センター 第3回定例研究会
		24	火	江原大学校広報室長 宋榮韓氏来館
	9	16	木	韓国国際交流財団 権仁赫理事長来館・会談
		17	金	慶南大学校 先生一行来館
		22	水	韓国研究センター 第4回定例研究会
	10	8	金	福岡県民セミナー「元気な韓国」(1) 於：アクロス福岡3階こくさいひろば交流室A
		15	金	福岡県民セミナー「元気な韓国」(2)
		18	月	嶺南大学校 Kim, Kiseok 氏来館・見学
		22	金	福岡県民セミナー「元気な韓国」(3) 外務省招聘韓国記者団(計15名)来館
		25	月	南京大学 先生4名見学
		27	水	Harvard-Yenching Institute、Edward J. Baker 氏来館・意見交換会
		29	金	福岡県民セミナー「元気な韓国」(4)
		30	土	仁済大学校 成昌模総長来館
	11	4	木	名城大学経済学部 梅垣学部長ほか2名見学
		5	金	翰林聖心大学 尹載善氏来館
		13	土	韓国研究センター主催 国際シンポジウム2004(～14日) 於：九州大学国際ホール 第1部 「環太平洋における Korean Studies Network 構築への展望」
		14	日	第2部 第1分科会「東アジア三国の地域ネットワークに関する歴史学的考察」 第2分科会「地域政治の日韓比較研究」

年	月	日	曜	視察、会議、催し等
2004	11	19	金	福岡県民シンポジウム「元気な韓国、女性が拓く日韓新時代」 於：アクロス福岡「国際会議場」
		25	木	連続講演会 韓国「民主化後の民主主義」を考える(1)
		29	月	韓国教育人的資源部主管韓国内国立大学予算担当者一行来館
		30	火	元駐日大使 呉在熙氏、駐福岡大韓民国総領事館領事 李鍾一氏来館
	12	4	土	九州大学韓国研究センター 国際研究集会2004(～5日) 於：九州大学国際ホール 第1日目 シンポジウム「『帝国日本』と東北アジア」 第2日目 「20世紀朝鮮の民衆生活」 1. 民衆生活史への道 2. 二十世紀民衆生活の諸相 3. イメージ、インターネット、民衆生活 4. 招請講演 5. 引揚者たちが語る植民地朝鮮
		5	日	
		8	水	金鍾泌元国務総理来館・会談
		14	火	九州大学・全北大学校 国際学術ワークショップ2004 於：九州大学国際ホール 第1部 植民地研究 第2部 西洋文化の受容
		16	木	連続講演会 韓国「民主化後の民主主義」を考える(2)
		17	金	東京大学 服部民夫教授来館
2005	1	13	木	写真展「『ヨン様』の国」(～18日) <於：福岡アジア美術館交流ギャラリー> 慶熙大学校社会学部研修団来館 連続講演会 韓国「民主化後の民主主義」を考える(3)
		27	木	連続講演会 韓国「民主化後の民主主義」を考える(4)
		28	金	高麗大学校民族文化研究院 Lee, Sanghyeok 氏来館
	2	19	土	九州大学韓国研究センター国際シンポジウム2005「朝鮮半島と平和」(～20日) 於：九州大学国際ホール 第1日目 特別講演「中東における『対テロ戦争の現状と今後の展望』」 第2日目 日韓共同シンポジウム「朝鮮半島の平和構築と東アジア共同体の展望」 第1セッション「イラク戦争と日韓の派兵」 第2セッション「朝鮮半島と東アジア共同体」 第3セッション「ジェンダーの観点から考える」
		24	木	文部科学省研究振興局学術企画室調査訪問
		25	金	九州大学 渡辺浩志理事視察
		2	水	韓国研究センター 研究会
		4	金	国立国会図書館関西館 網野美美氏来館
	3	14	月	韓国研究センター 第5回定例研究会
		18	金	国立公文書館アジア歴史資料センター 牟田昌平氏来館

2) 韓国国際交流財団奨学金受給大学院生業績一覧

(2005年3月現在)

受給年度	氏名	(受給時の学年) 論文名	書籍名 号数	発行年月日	備考
1999	川口大輔	文学部・史学科 修士2年次			
1999	西野 玄	比較社会文化学府・国際社会文化 修士2年次			
		「開港期初期、外務省の居留地設置政策 - 釜山居留地の設置から仁川開港まで」	『韓国言語文化研究』第1号	2001年7月	
		「韓国・朝鮮を知るための本」(松原孝俊と共同作成)	『ハンドブック韓国入門：ことばと文化』松原孝俊編	2002年5月	
			『韓国語へのアクセスシリーズ⑤ 入門韓国語 表現編』、花書院	2003年	松原孝俊監修
1999	押川信久	文学部・史学科 修士2年次			
		「朝鮮太宗代の仏教政策と対明交渉」		1988年12月	九州史学会発表資料
		「朝鮮王朝建国当初における僧徒の動員と統制」	『朝鮮学報』第185号	2002年10月	
1999	齊藤 学	文学部・史学科 博士1年次			
1999	山田良介	法学部・政治学科 博士3年次			
		「日中學術交流講演会参加記」(井竿富雄と共著)	『政治研究』(九州大学法学部政治研究室) 42	1995年3月	
		「東アジア国際秩序の変容と朝鮮 近代化の模索」	終わらない20世紀 東アジア政治史1894~	2003年2月	石川捷治・平井一臣編 法律文化社
		「朝鮮の近代移行過程と在朝日本人 - 予備的考察」		2005年3月	韓国研究センター定例研究会発表
		「東亜同文会の中国「保全」論に関する一考察 - 『東亜時論』における議論を中心に」	『九大法学』(九大法学会) 85	2002年	
		「植民地朝鮮半島と日本人 - 聞き取り調査からのアプローチ」	『福岡発・アジア太平洋研究報告』13	平成16年(2004)	
1999	岡田裕之	比較社会文化学府・国際社会文化 博士1年次			
		「糸島地域における遺跡分布の地理情報システム(GIS)による研究」	『九州考古学』(九州考古学会)77	2002年12月	宮本一夫；田平陽子(他)
		「古墳時代における須恵器の生産単位について - 須恵器に記されたヘラ記号の目的と関連して」	『史淵』(九州大学大学院人文科学研究院) 140	2003年3月	
		「北部九州における須恵器生産の動向 - 牛頸窯跡群の検討を中心として」	『古文化談叢』(九州古文化研究会)49	2003年5月	
		「古墳時代後期の地域編成 - 京都平野・宗像地域における古墳の分布様相から」	『史淵』(九州大学大学院人文科学研究院) 141	2004年3月	
		「古墳時代の須恵器製作者集団 - 福岡県宗像市須恵須賀浦遺跡の研究」	『日本考古学』(日本考古学協会、吉川弘文館) 17	2004年5月	
1999	伊藤幸司	文学部・史学科 博士3年次			
		「大内氏の対外交流と筑前博多聖福寺」	『仏教史学研究』(仏教史学会) 39(1)	1996年10月	
		「堺における遣明船と禅宗勢力 - 東福寺派と取龍首座について」	『中近世の宗教と国家』(今谷明、高埜利彦編、岩田書院)	1998年6月	
		「大内氏の日明貿易と堺」	『ヒストリア』(大阪歴史学会) 161	1998年9月	
		「中世後期地域権力の対外交渉と禅宗門派」	『古文書研究』(日本古文書学会) 48	1998年10月	
		「中世後期の臨濟宗幻住派と対外交渉」	『史學雑誌』第108編 第4号 史學界 東京大學文學部内	1999年	
		「一五・六世紀の日明・日朝交渉と夢窓派華嚴門派」	『朝鮮学報』第百七十一輯	1999年11月	
		「『異国使僧小録』の研究 - 近世に編纂された中世外交関係未刊資料 -」	『花園大學禅學研究』第八十号	2001年	
		「雪舟の旅と東福寺派のネットワーク - 禅宗界のネットワークを探る旅」	朝日百科 日本の国宝別冊 『国宝と歴史の旅』 - 号 〈「天橋立図」を旅する - 雪舟の記憶 -〉	2001年4月	朝日新聞社
			『中世日本の外交と禅宗』	2002年2月	吉川弘文館
		「蒙古襲来をめぐる円爾と南浦紹明」	『都府楼』第三十三号	2002年3月	
		「中世後期における対馬宋氏の外交僧」	『年報 朝鮮學』第八號	2002年3月	
		「書評と紹介 上田純一著『九州中世禅宗史の研究』」	『日本歴史』(日本歴史学会、吉川弘文館) 648	2002年5月	
		「九州大学所蔵「宋偽達吹嘘」について」	『九州史学』第一三十二号	2002年7月	
		「現存史料からみた日朝外交文書・書契」	『九州史学』第一三十二号	2002年7月	
「大内氏の琉球通交」	『年報中世史研究』第二十八号	2003年			
「中世後期外交使節の旅と寺」	中尾堯編『中世の寺院体制と社会』	2002年12月			
1999	永井彰子	比較社会文化学府・国際社会文化 博士3年次			
		「音の道 - 琵琶の場合(中世の芸能 - パフォーマンスの季節<特集> - 新仏教の渦の中で)」	『国文学 解釈と教材の研究』(学灯社) 37(14)	1992年12月	
		「社会集団としてみた近世筑後の盲僧」	『歴史民俗学論集(盲僧)』(名著出版) 2	1993年4月	

受給年度	氏名	(受給時の学年) 論文名	書籍名 号数	発行年月日	備考
1999	永井彰子	「近世における筑前の盲僧」	『歴史民俗学論集(盲僧)』(名著出版) 2	1993年4月	
		「竹下喜久男著『近世地方芸能興行の研究』」	『芸能史研究』(芸能史研究会) 139	1997年10月	
		「韓国の盲人 — イェンナル・イヤギとイヤギクン(特集 昔話 — 通底するフォーク・テイルズ — 語り・語り手に注目する)」	『国文学 解釈と教材の研究』(学灯社) 44(14)	1999年12月	
			『日韓盲僧集団に関する歴史的研究—玄清法流れと大韓盲人易理学会—』	2000年	博士論文
		「神田由築著『近世の芸能興行と地域社会』」	『歴史と地理』(山川出版社) 532	2000年3月	
2000	菊池勇次	人文科学・朝鮮史学 修士1年次			
2000	樋口貴子	経済学・経済学			
2000	米田幸代	比較社会文化・国際社会文化 修士2年次			
		「韓国語基本動詞データ — 形態数を中心に」	『韓国言語文化研究』 2号	2002年4月	
		「국어사전의 용언(동사)의 분류와 그 제시 방법에 대한 고찰 — 『표준국어대사전』을 검토 대상으로 하여—」	『韓国言語文化研究』 3号	2003年11月	
2000	齊藤 学	文学部・史学科 博士2年次→1999年欄参照			
2000	押川信久	文学部・史学科 博士1年次→1999年欄参照			
2000	神崎智子	法学・政治学 博士2年次			
		「経済成長、人間開発、参加の3要素から見た社会開発の検証 — インドネシアを例にして」	『アジア女性研究』(アジア女性交流研究フォーラム、アジア女性交流・研究フォーラム) 6	1997年3月	
		「女性政策推進のための制度的仕組みに関する — 考察 — 日本と韓国を比較して」	『アジア女性研究』 第12号	2003年3月	
2000	宮下尚子	比較社会文化・国際社会文化 博士2年次			
		「中国人日本語学習者の仮名文字における誤用の化石化現象」	『航空大学校研究報告』(航空大学校) R-51	1997年12月	
		「二言語社会における言語教育の実態 — 朝鮮族の家庭教育を中心に」	『家庭教育研究』 第3号	1998年3月	
		「『交隣須知』におけるh末音名詞」	『比較社会文化研究』(九州大学大学院比較社会文化研究科) 6	1999年	
		「『児童世界』の呼びかけ表現」	『家庭教育研究』(日本家庭教育学会) 4	1999年3月	
		「“快点儿走”と“走快点儿” — 中国語の命令文における形容詞+量詞の位置(1)」	『比較社会文化研究』(九州大学大学院比較社会文化研究科) 7	2000年	
		「中国延辺地区朝鮮語の歯茎破擦音と口蓋音化」	『比較社会文化研究』(九州大学大学院比較社会文化研究科) 8	2000年	
「中国における開放以降の“双語”研究概観 — 漢語借用語の問題を中心に —」	『比較社会文化研究』 第13号	2003年			
2000	奥園秀樹	比較社会文化・国際社会文化 博士3年次			
		「朝鮮半島の政治的・経済的変化」	『東亜』 386 (霞山会)	1999年8月	アリゴニー、ガイ、R. 著の翻訳
		「朝鮮戦争と李承晩 — 軍部の膨脹と政軍癒着」	『制度と逸脱』(国際関係学双書 17) (静岡県立大学国際関係学部) ヨーロッパ文化コース編、静岡県立大学国際関係学部)	2000年3月	
		「朝鮮の政治的伝統 — 朴正熙の李朝認識と文民政権」	『東亜』 396	2000年6月	
		「大韓帝国末期愛国啓蒙言論の日本認識」	宮嶋博史、金容徳編著『日韓共同研究叢書 2 (近代交流史と相互認識 1)』(慶応義塾大学出版会)	2001年1月	柳永烈著の翻訳
		「労使関係の韓日比較」	野副伸一、朴英哲編『日韓共同研究叢書 1 (東アジア経済協力の現状と可能性)』(慶応義塾大学出版会)	2001年1月	金三洙著の翻訳
		「Capital Flow 側面における韓日関係」	野副伸一、朴英哲編『日韓共同研究叢書 1 (東アジア経済協力の現状と可能性)』(慶応義塾大学出版会)	2001年1月	金東源著の翻訳
		「朝鮮半島の将来と北東アジア(8) — 「太陽政策」への視点」	『東亜』 403 (霞山会)	2001年1月	John Merrill 著の翻訳
		「朴世熙のナショナリズムと対米依存 — 「軍事革命政府」による「自立」の追求(冷戦の終焉と60年代性)(Park Chung Hee's Nationalism and Dependence on the U.S.: The Military Revolutionary Government's Quest for Self-reliance (The End of the Cold War and World Politics in the 1960s))」	『国際政治』 126	2001年2月	
		「ASIA STREAM 韓国軍のイラク派兵問題と盧武鉉政権 — 朝鮮半島の動向(2004年3月)」	『東亜』 443 (霞山会)	2004年5月	
「ASIA STREAM 在韓米軍の再編・削減問題と盧武鉉政権 — 朝鮮半島の動向(2004年5月)」	『東亜』 445 (霞山会)	2004年7月			

受給年度	氏名	(受給時の学年) 論文名	書籍名 号数	発行年月日	備考
2000	奥蘭秀樹	「ASIA STREAM 済州島日韓首脳会談の意義と今後の課題 — 朝鮮半島の動向(2004年7月)」	『東亜』447 (霞山会)	2004年9月	
		「ASIA STREAM 韓国の「核開発疑惑」が投じる波紋 — 朝鮮半島の動向(2004年9月)」	『東亜』449 (霞山会)	2004年11月	
2001	原 智弘	人文科学・朝鮮史学 修士2年次			
		書評「稲葉継雄著『旧韓国の教育と日本人』」	『年報 朝鮮学』8	2002年3月	
		「韓末官立中等教育機関の社会的評価 — 官吏任用制度との関連で」	『朝鮮学報』189	2003年10月	
		翻訳：第10章「植民地資本主義の従属的資本主義への転換と国民経済の形成(1945~60年)」	『韓国経済通史』	2004年	
		「植民地朝鮮における公立普通学校の数量的分析」	朝鮮学会発表	2004年10月	
		「大韓帝国期における近代の学校の社会的価値形成過程 — 試験制官吏任用から文官任用へ」	2005年度朝鮮史研究会関東部会例会	2005年3月	
2001	阿形佐恵子	「朝鮮プロテスタント伝道におけるハングル聖書翻訳と聖書頒布の始まり」	『韓国言語文化研究』3	2002年12月	
		「朝鮮半島における英国聖書公会聖書販売人「売書人」に関する基礎的研究 — 1883年から1915年を中心に」	『朝鮮学報』187	2003年4月	
2001	佐々木正徳	人間環境学・発達・社会システム 修士2年次			
		「韓国高校生の性役割意識 — 全州市高校生へのアンケート調査から」	『九州教育学会研究紀要』第29巻	2001年	
		「韓国における男性性」研究の意義についての一考察」	『九州教育学会研究紀要』第31巻	2003年	
		「韓国男性運動の展開」	『国際教育文化研究』Vol.3	2003年6月	
		「文化評論 韓日大衆文化交流と教育の役割」	『Anthropology of Education Newsletter』第10巻第1号(通巻37号)	2004年3月	
		「韓国の男性運動とそれをとり巻く環境について」	『国際教育文化研究』Vol.4	2004年6月	
2001	川口大輔	人文科学・歴史空間論 博士2年次→1999年欄参照			
2001	鐘ヶ江賢二	土器の地域色研究 — 研究の課題と今後の展望 —	『人類史研究』10号	1998年5月	
		弥生土器の色調変化についての基礎的研究 — 北部九州の中後期を題材として —	『人類史研究』11号	1999年5月	
		色調から見た南部九州弥生土器様式の動態	『琉球・東アジアの人と文化 高宮廣衛先生古稀記念論集』	2000年10月	
		比恵・那珂遺跡群出土弥生土器の胎土分析 — 土器の生産と流通・製作技術の理解へむけて	『人類史研究』13号	2002年10月	三辻利一・上野禎一
		大友遺跡出土土器の胎土分析	『佐賀県大友遺跡の発掘調査』II	2003年3月	三辻利一・上野禎一
		前原西町遺跡出土韓半島系土器の胎土分析	『前原西町遺跡II 前原市埋蔵文化財調査報告書84』	2003年3月	三辻利一
		弥生土器・韓半島系土器の胎土分析からみた発色技術の検討	日本考古学協会 第69回総会研究発表要旨	2003年5月	
		色調から見た九州弥生土器の地域色	『認知考古学とは何か』	2003年12月	
2001	田尻義了	比較社会文化学府・日本社会文化 博士1年次			
		「弥生時代(九州)〔含 1999年文献目録〕(特集 1999年の考古学界の動向)」	『月刊考古学ジャーナル』(ニュー・サイエンス社)460	2000年6月	
		「弥生時代青銅器生産における生産体制論 — 北部九州出土の鋳型資料の分析から」	『九州考古学』(九州考古学会)76	2001年11月	
		「弥生時代小形仿製鏡の製作地 — 初期小形仿製鏡の検討 —」	『青丘学術論集』第22集 財団法人韓国文化研究振興財団	2003年3月	
		「弥生時代小形仿製鏡の生産体制論」	『日本考古学』第18号 日本考古学協会	2004年11月	
2001	端野晋平	比較社会文化学府・日本社会文化 博士1年次			
		「支石墓伝播のプロセス — 韓半島南端部・九州北部を中心として」	『日本考古学』(日本考古学協会、吉川弘文館)16	2003年10月	
2001	金子 満	人間環境学・発達・社会システム 博士1年次			
		「朝鮮植民地における文化支配への抵抗運動にかんする歴史的検討 — 1920年代の朝鮮農民社による「文盲退治運動」(文解教育運動)を中心に」	『社会文化研究』(社会文化学会、京都社会文化センター、晃洋書房)6	2003年8月	
		「1920年代の朝鮮社会教育の歴史的検討 — 社会教育と社会事業の関連を中心にして」	『日本社会教育学会紀要』(日本社会教育学会)37	2001年	
2002	寺嶋 宏	人文科学・歴史空間論 修士2年次			

受給年度	氏名	(受給時の学年) 論文名	書籍名 号数	発行年月日	備考
2002	寺嶋 宏	柳希春の蔵書形成に関する考察		2002年12月	九州史学会朝鮮学 部会 研究発表
2002	山口華代	人文科学・歴史空間論 修士2年次			
2002	松岡雄太	人文科学・言語・文学 修士2年次			
		「現代朝鮮語の連体形語尾-던(-ten)に就する略誌」		2003年1月	
		「現代モンゴル語ホルチン方言のアスペクト — 「副動詞形 + -bayi」形を中心として」	『福岡発・アジア太平洋研究報告』 (アジア太平洋センター、福岡ア ジア都市研究所) 13	2004年	
		「現代朝鮮語の連体形語尾-tenに関する研究」	『九州大学言語学論集』第24号	2004年11月	
2002	新城道彦	比較社会文化・国際社会文化 修士2年次			
		「『植民地』朝鮮政策の可視化と揺動—李太王及び李王の国葬 にみる『植民地』朝鮮政策—」	修士論文	2003年	『韓国言語文化研究』 第4号に要旨紹介
		「王族を介した『日本』概念の可視化と抽象化—李垠と梨本 宮方子の婚儀にみる朝鮮統治—」	『韓国言語文化研究』第4号	2003年6月	
		「『植民地』朝鮮形成の『正当』化と抽象化—条約調印と交付 の間隙にみる韓国併合—」	『朝鮮学報』	印刷中	
		한국의 사장과 왕 — 조선 왕가 (朝鮮王家) 중심으로—	語学堂卒業論文	2004年12月	
		「呉泳鎮『真相』韓国語翻訳」		2005年	
		「朝鮮古典籍の形態」(翻訳)	『韓国言語文化研究』8	2005年6月	
		「『大韓民国—隣の国ってどんな国?』政治部分」	『アジア太平洋センターデータブック』		
2002	久保山力也	法学・基礎法学 博士2年次			
		「韓国ロースクール論争と「法と社会」のゆらぎ(1)ロースク ール論争と「韓国的エピソード」」	『九大法学』(九大法学会) 88	2004年	
2002	金子 満	人間環境学 発達・社会システム 博士3年次→2001年欄参照			
2002	西野 玄	比較社会文化・国際社会文化 博士3年次→1999年欄参照			
2002	舟橋京子	比較社会文化・日本社会文化 博士3年次			
		「VI. 横隈上内畑遺跡2出土人骨について」	『小都市文化財調査報告書』第143集	2000年	金幸賢・田中良之
		「土井ヶ浜集団における抜歯の社会的意義」	『古文化談叢』第45集	2000年10月	
		「弥生時代人骨にみられる下顎抜歯に関する一考察」	『弥生時代における九州・韓半島交流誌の 研究 平成12年度 韓国国際交流財団助成 事業共同研究プロジェクト研究報告書』	2001年5月	田中良之
		「縄文時代の抜歯施行年齢と儀礼的意味—晚期西日本の諸遺 跡出土人骨を対象として—」	『考古学研究』第50巻第1号(通巻197 号)	2003年6月	
2003	川西裕也	人文科学・歴史空間論 修士1年次			
2003	石橋道秀	比較社会文化・国際社会文化 修士1年次			
		「国語発達史(翻訳)」	『韓国言語文化研究』第7号	2004年7月	
		「北部九州及び韓国南部地方の島嶼部・海岸に残る「串」地 名の研究」	『東アジアと日本：交流と変容』九州大 学21世紀 COE プログラム (人文科学)	2004年5月	
			『佐賀・筑後難読地名さんぽ』	1998年	佐賀新聞社
			『新佐賀・筑後難読地名さんぽ』	2001年	佐賀新聞社
		「風土記に見える古地名」	『韓国日本学会』	2002年	
		「新しい俳句の指導」	『詩歌教材指導改善ハンドブック』	1998年	
		「道程」	『詩歌・随筆』	1992年	
		「万葉集文学散歩のレポート学習」	『新しい言語事項学習指導法の開発』	1997年	
		「表現活動に生きる言語事項の指導」	『新しい言語事項学習指導法の開発』	1992年	
		「国語科における群読指導の研究—詩教材を中心として—」	『教育実践研究指導センター紀要』No.8	1992年	
		「ちょっと立ち止まって」	『中学校国語教材研究大辞典』	1993年	
		「豊かな音声表現力を育てる指導の工夫—詩教材における群 読野指導を中心に—」	『佐賀県教育センター長期研修生 報告書』		
	「パネルディスカッションによる文学教材の読みの交信」	『佐賀大学文化教育学部付属中 学校研紀要』			
	「ご存知ですか」	『図書館だより』	2004.6~2005.2	佐賀県立図書館	
2003	青田憲司	経済学府・産業マネジメント 博士1年次			
2003	荒木和憲	人文科学・歴史空間論 博士1年次			
		「対馬島主宗貞茂の政治的動向と朝鮮通交」	『日本歴史』第653号	2002年10月	
		「中世後期における対馬宗氏の特送船」	『九州史学』第135号	2003年2月	
		「対馬島主宗貞盛の政治的動向と朝鮮通交」	『朝鮮学報』第189輯	2003年10月	
		「一五世紀対馬宗氏の権力形成と朝鮮通交権」	『年報中世史研究』第30号	2005年	
		「一六世紀前半対馬の政変と三浦の乱」	『東アジアと日本：交流と変容』九州大 学21世紀 COE プログラム (人文科学)	2005年2月	
2003	原 智弘	人文科学・歴史空間論 博士2年次→2001年欄参照			
2003	降矢哲男	人文科学・歴史空間論 博士2年次			
		「平泉出土の貿易陶磁—柳之御所跡出土の韓半島陶磁器か ら見える流通経路」	『平泉文化研究年報』第2号	2002年	

受給年度	氏名	(受給時の学年) 論文名	書籍名 号数	発行年月日	備考
2003	降矢哲男	「韓半島産陶磁器の流通－高麗時代の青磁を中心に－」	『貿易陶磁研究』 No.22		日本貿易研究会
		「海外交流講演会「初期高麗青磁の様相」に参加して」	『中世土器研究』 109号		
2003	新城道彦	比較社会文化・国際社会文化 博士1年次→2002年欄参照			
2003	佐々木正徳	人間環境学・発達・社会システム 博士2年次→2001年欄参照			
2004	井出未央	経済・経済システム 修士1年			
		「FTAにおける農業問題の一考察－日韓FTAを例として－」	2004年 未発表		
		「農業政策を通じたイギリス経済の一考察－戦後から80年代末までの50年間」	2004年 未発表		
2004	原 智宏	人文科学・歴史空間論 博士2年次→2001年欄参照			
2004	荒木和憲	人文科学・歴史空間論 博士2年次→2003年欄参照			
2004	黄 晷媛	比較社会文化・国際社会文化 博士2年次			
			『ポイントレッスン中級韓国語』		
		「日本語母語話者大学生を対象とした韓国語中級教材」			
		「入門期の韓国語教材における語彙調査(上)－動詞・形容詞を中心に－」	『韓国言語文化研究』 第4号	2003年6月	
		「入門期の韓国語教材における語彙調査(中)－名詞(ㄱからㅅまで)を中心に－」	『韓国言語文化研究』 第5号	2003年12月	
		「入門期の韓国語教材における語彙調査(下)－名詞(ㅇからㅎまで)を中心に－」	『韓国言語文化研究』 第6号	2004年	
		「韓国語教育における教育語彙の選定に関する一考察～「名詞」「動詞」「形容詞」の語彙調査を中心に～」	『ポリクロシア』 第9巻	2004年10月	
2004	押川信久	人文科学・歴史空間論 博士3年次→1999年欄参照			

3) 人事異動

2004年度客員教授

李炳昨教授(江原大学校教授) 3月6日赴任(6月24日離任)

崔徳壽教授(高麗大学校教授) 6月25日赴任(9月24日離任)

ネルソン・グレーバン教授(カリフォルニア大学バークレー校教授) 1月20日赴任(3月31日離任)

4) センターのこれまでの研究活動

年度	活動内容	主催・共催・助成(RCKSは九州大学韓国研究センター)
2000	シンポジウム「労働と政治～日韓比較の視座から」	主催：RCKS 韓国国際交流財団助成事業
	シンポジウム「韓国の伝統文化と九州」	主催：RCKS 韓国国際交流財団助成事業
	九大総理工・プサン大学・ポハン理工科大学による大学院教育の国際化の新しい試み	韓国国際交流財団助成事業
	田中良之「弥生時代における九州・韓半島交流史の研究」	韓国国際交流財団助成事業
	丸山孝一「韓国民家の構造と家族の動態に関する研究」	韓国国際交流財団助成事業
	今西裕一郎「九州大学附属図書館と韓国ソウル大学中央図書館の学術交流に関する基礎的研究」	韓国国際交流財団助成事業
2001	国際シンポジウム2001「日韓産業経済圏と九州経済」	主催：RCKS 共催：韓国国際交流財団助成事業・九州大学経済学研究院（アジア連携講座）・九州大学農学研究院・九州大学研究拠点形成プロジェクト「韓国の産業と経営に関する総合的研究」・福岡市アジア太平洋センター・北九州市国際東アジア研究センター・九州経済調査協会・韓国経済研究会
	シンポジウム「韓国考古学の新世紀」	主催：RCKS 韓国国際交流財団助成事業
	シンポジウム「株式会社の支配構造と周辺労働者」	主催：RCKS 韓国国際交流財団助成事業
	柳原正治「開港期韓国における不平等条約の実態と朝鮮・大韓帝国の対応」	韓国国際交流財団助成事業
	松原孝俊「世界の中の韓国研究－九州大学韓国研究センターの使命－」	韓国国際交流財団助成事業
深川博史「韓国経済のグローバル化と産業構造転換に関する研究」	韓国国際交流財団助成事業	
2002	シンポジウム「韓国および日本における会計監査制度改革」	主催：RCKS 韓国国際交流財団助成事業
	シンポジウム「山村社会の持続的発展と大学教育の役割に関するシンポジウム」	主催：RCKS 韓国国際交流財団助成事業
	シンポジウム「日韓自由貿易協定が拓く未来－東アジア経済連携へのイニシアティブ－」	主催：RCKS 共催：現代韓国朝鮮学会・九州大学研究拠点形成プロジェクト「先端的インターネット技術を用いた日韓学術交流システムの構築と応用」 後援：韓国国際交流財団助成事業
	菅 英輝「南北頂上会談以降における朝鮮半島の平和と共存の可能性－北東アジアにおける安全保障にとっての合意－」	韓国国際交流財団助成事業
	出水 薫「日本における韓国政治経済研究の現状と展望」	韓国国際交流財団助成事業
	濱田耕策「日韓の総合認識に関する人文科学総合研究」	韓国国際交流財団助成事業
2003	シンポジウム「アジアの中の韓国伝統文化」	主催：RCKS 共催：文部科学省21世紀プログラム「東アジアと日本：交流と変容」のユニット2「交流と変容の研究」班 韓国国際交流財団助成事業
	シンポジウム「韓国研究センターの成果と展望1999～2003」	主催：RCKS 韓国国際交流財団助成事業
	深川博史「韓国研究センターにおける日韓 FTA（自由貿易協定）の共同研究」	韓国国際交流財団助成事業
	出水 薫「平和研究における朝鮮半島認識」	韓国国際交流財団助成事業
	松原孝俊「環日本海地域を研究する大学等研究機関 Network 化のための基礎的研究」	韓国国際交流財団助成事業

年度	活動内容	主催・共催・助成(RCKSは九州大学韓国研究センター)
2004	シンポジウム「環太平洋における Korean Studies Network 構築への展望」	主催：RCKS 共催：韓国国際交流財団助成事業 九州大学アジア総合研究センター・高麗大学校 BK21・韓国学教育研究団・九州大学 P&P 「IT を活用した日韓学術支援」 協賛：(財)福岡県国際交流センター
	九州大学・高麗大学・復旦大学 Joint Seminar 「東アジア三国の地域ネットワークに関する歴史学的考察ー上海・仁川・博多を中心にー」	主催：RCKS 共催：韓国国際交流財団助成事業 九州大学アジア総合研究センター・高麗大学校 BK1・韓国学教育研究団・九州大学 P&P 「IT を活用した日韓学術支援」・九州大学 P&P 「地域政治の日韓比較研究」・九州大学 P&P 「植民地朝鮮における日本人生活誌の再構成」・九州大学大学院法学研究院 協賛：(財)福岡県国際交流センター
	シンポジウム「地域政治の日韓比較研究」	主催：RCKS 共催：韓国国際交流財団助成事業 九州大学アジア総合研究センター・九州大学 P & P「IT を活用した日韓学術支援」・九州大学 P & P 「地域政治の日韓比較研究」・九州大学大学院法学研究院 協賛：財団法人福岡県国際交流センター・財団法人アジア太平洋センター 協力：日本学術振興会・日韓拠点大学方式による学術交流「インターネット基盤技術の高度化に関するシステムの実証及び調査研究」・総務省 eIプロジェクト「国際文化分野における IT の新活用」・高麗大学校 ITRC 次世代インターネット研究センター・高麗大学校亜細亜問題研究所
	福岡県民シンポジウム「元氣な韓国、女性が拓く日韓新時代」	主催：RCKS・(財)福岡県国際交流センター（日韓文化交流促進事業） 助成：韓国国際交流財団助成事業・日韓文化交流基金助成事業 後援：日本外務省・在福岡大韓民国総領事館・福岡県、韓国観光公社・NHK 福岡放送局・独立行政法人国際交流基金・(在)福岡県女性財団・(財)福岡国際交流協会・(財)北九州国際交流協会・(財)福岡市女性協会・(財)アジア女性交流研究フォーラム
	シンポジウム「『帝国日本』と東アジア」	主催：RCKS・近現代東北アジア地域史研究会・九州大学 21世紀 COE プログラム「東アジアと日本・交流と変容」ユニット3：比較社会史の研究と共催
	シンポジウム「20世紀朝鮮の民衆生活」	主催：RCKS・[韓国]20世紀民衆生活史研究団
	「写真展「ヨン様」のナラー 5 人の写真家が見た韓国 (1950～90年代)」	主催：RCKS・(財)福岡国際交流協会・[韓国]20世紀民衆生活史研究団・福岡市 後援：朝日新聞社
	シンポジウム「朝鮮半島と平和」	主催：日本学術会議平和問題研究連絡委員会 共催：RCKS・韓国国際交流財団助成・日本平和学会九州沖縄地区研究会

活動内容の詳細については、韓国研究センターのホームページ <http://rcks.isc.kyushu-u.ac.jp/> をご覧ください。